

標十五句

松岡隆子選

紀の川のおほどかに入る秋の海	写経展出でて色なき風のなか	くわりんの実嗅ぎて七十五の不惑	この庭の妻の遺愛の時鳥草	今日ことにさみしき色を実むらさき	喪ごころの深きに弾け鳳仙花	見送りに出てたまゆらの後の月	冬支度して安心の六畳間	花石露の蕾の勢ひ明日咲かむ	待宵や尾根を連ねて槍穂高	丹の橋に小鳥来てゐる宮参り	ふらと出て鶉の高音を浴びせらる	白いもの白く濯ぎし秋思かな	励ましはいつか己へ草の花	起きて来し夫と出会す夜長かな
椎名 佐和子	岡 美穂	田坂 孝志	大津 朗	町田 洋子	北村 敦子	神谷 フジ子	染谷 晴子	渡辺 あつ子	松原 ふみ子	高橋 愛子	鈴木 綾	唐木 和世	佐藤 郭子	川上 昌子